

株式会社ハイウェイ管制 [事業概要]

HIGHWAY KANSEI COMPANY LIMITED [COMPANY PROFILE]

磨き上げた技術はハイウェイを守るために。
高速道路の快適な走行を高度な技術で支えています。

ごあいさつ



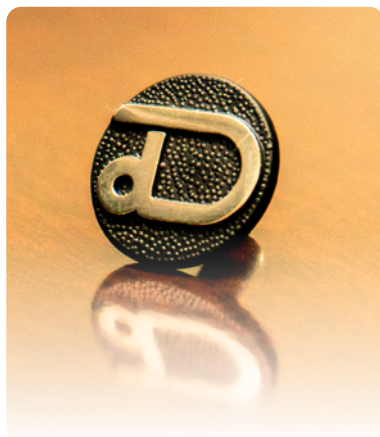
株式会社ハイウェイ管制
代表取締役社長

谷口信彦

株式会社ハイウェイ管制は、昭和 59 年に設立され、以来高速道路の電気通信・交通管制設備の維持管理業務に携わっています。高速道路には、お客さまの安全・安心・快適なご利用を守るために様々な設備が設置されており、24 時間 365 日休むことなく稼働しています。安定した電力供給や通信の確保のためには、日々の監視業務をはじめ定期的な点検や補修を適切に実施する必要があります。また、電気通信分野は技術が日進月歩であり、技術力の維持も非常に重要です。私たちは、これまで培ってきた技術力とノウハウを最大限に活かすとともに、高速道路を利用されるお客さまの安全を守るという大きな使命感を持って一丸となって日夜業務に励んでいます。今後とも阪神高速グループの一員として、社員一人ひとりが技術力・人間力を高め、これを発揮することで社会に貢献していくことを目指して参ります。一層のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



○ 企業理念



【基本理念】

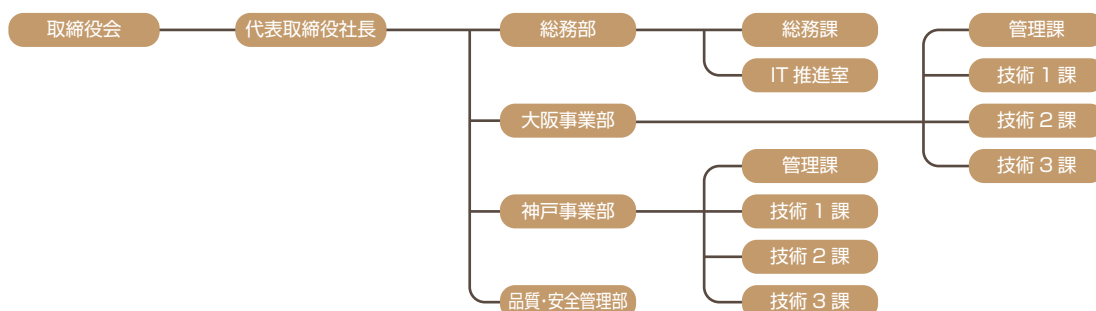
「技術を通じて社会に貢献」

【品質方針】

1. 都市高速道路での24時間体制を整え、迅速かつ確かな保守サービスを提供します。
2. 高い技術力と責任感で、質の高いサービスを目指します。
3. 常にお客さま目線に立ち、顧客ニーズを先取りし、顧客要求事項を満たします。
4. 品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善し顧客満足の上昇に努めます。

当社は「経営戦略と社会的責任」の行使を含め、品質マネジメントシステムの継続的改善に取り組みます。

○ 組織



この道路とともに 生きてゆく。

私たち(株)ハイウェイ管制の仕事は、高速道路と共にあります。24時間休むことなくお客さまが行き交う道路は常に安全で、快適でなければなりません。そんな当たり前を実現するために、料金所を通過した瞬間から、高速道路上には様々な設備が設置されていることをご存知でしょうか。通行料金を無線で決済するETC、渋滞や工事のお知らせなどを表示するLED式の情報表示板、交通状況を配信するラジオアンテナ、夜間やトンネル内を照らす照明設備等々... 普段何気なく見過ごしているかもしれないこれらの設備は、何一つ欠かせない重要な役割を個々に果たしています。

私たちは、阪神高速に設置されているこれら全ての設備が常に正常に稼働するように、更新の検討から日常点検、緊急出動によるメンテナンスを行い、お客さまが快適にご利用いただけるように、365日昼夜を問わず高速道路を見守っています。



メンテナンス

トラブルのない快適な高速道路を目指して

[日常・定期点検業務／24時間監視による緊急対応]



数百 km に及ぶ広大な高速道路に設置される電気関係設備。それらはまるで人の体をめぐる血管のように、ネットワークの隅々まで張り巡らされ、高速道路の運用をささえています。24 時間休むことなく稼働を続ける高速道路の設備を、常に健全な状態に維持するためには、これら設備のきめ細やかなメンテナンスが必要不可欠です。

機器の正常な稼働を確認する日常点検をはじめ、設備トラブルに対する緊急対応など、私たちの仕事はさながら「高速道路のドクター」。徹底した原因の究明や、改善策を提案します。

また、将来発生が予想される問題に対して、トラブルを未然に回避する「予防保全」にも取り組んでいます。これまでに蓄積された膨大なデータをもとに、高い技術力と実績を活かしたメンテナンススケジュールを提案し、トラブルのない快適な道路を目指します。

● 予期せぬトラブルを未然に防ぐ「日常・定期点検業務」

トラブルを未然に防ぐために、各所の設備の定期的な点検を行っており、不具合を発見した際には、緊急性を検討し予定を組み、後日補修を行います。

常時稼働している設備以外にも、自家発電機など、緊急時すぐに使用できるように点検・整備を行なっています。



● 高速道路をいつも見守り即時駆けつける「24時間監視・緊急対応」



高速道路上にある電気・通信設備（以降、設備）の運用状況がリアルタイムに把握できる監視室には監視員が常駐し、24 時間体制で設備を見守っています。

異常の発生を確認すると監視員が状況の把握と設備の復旧に向けて動き出し、指示を受けた緊急隊員が対応に当たります。

設計

常に技術革新を図り最新の道路サービスに

[設備設置の検討から設計まで]



高度経済成長を迎えた1964年に開業し、都市の発展に合わせて拡張を続けてきた阪神高速道路のネットワーク。現在も、関西都市圏の経済活動や暮らしを支える動脈として、新たな道路が造られるとともに、すでに半世紀を経過する構造物の一部は更新を図ることで最新の道路として生まれ変わります。

構造物に設置されている様々な機器においても、常に技術革新が図られており、これらを高度な知識と最新の技術を用いて設計することで、常に快適な道路サービスを提供することが可能になります。

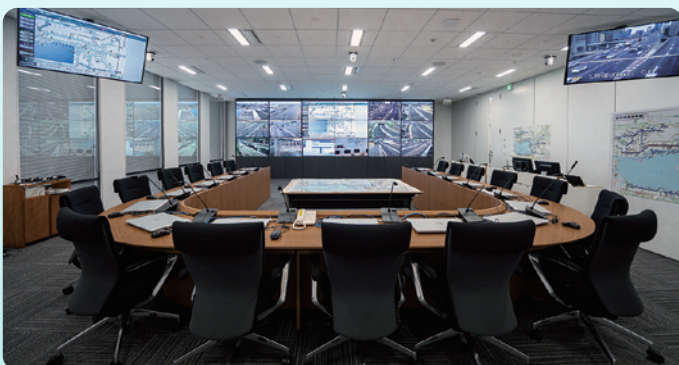
当社では、新たに設置される電気通信設備に対して、設置条件を考慮した配置場所の選定から、設備の設計、関連データの収集・資料の作成まで、各種認定資格を有する高い技術力を備えたエンジニアが、ニーズに対して必要かつ最適な提案を行います。

● 最新の設備・システムで道路サービスを支える「設計・検討」

[交通管制室の検討から施工まで]

交通状況を把握するための様々な情報が集約される、阪神高速道路の中心的な設備「交通管制室およびサーバー室」について、コンセプトやデザイン・レイアウトなどの検討・設計を行いました。

- 現状の管制室にある課題抽出（動線や情報伝達手段など）
- コンセプト、素材、デザイン、レイアウトの検討
- 管制卓、グラパネ画面（GUI）の検討（人間工学基づく設計）
- サーバー室の検討、レイアウトの検討、施工



[災害対策本部室の構築]

震災や風水害など、交通サービスや高速道路の構造物・設備に甚大な被害が及ぶ可能性がある災害の発生に備え、高速路上の状況を逐次把握し対策を行う「災害対策本部室」の構築に携わりました。

- 18面マルチシステムの設計、施工
- 表示内容、レイアウトの検討

施工

安全かつ効率的で高度な施工管理

[施工計画の検討から現地施工まで]



毎日数十万台に利用され、絶え間なく車が行き交う阪神高速道路において、工事やメンテナンスを行うために必要となる交通規制や通行止めなどは、交通の流れに影響を及ぼし、お客さまの負担となりサービスの低下につながってしまいます。

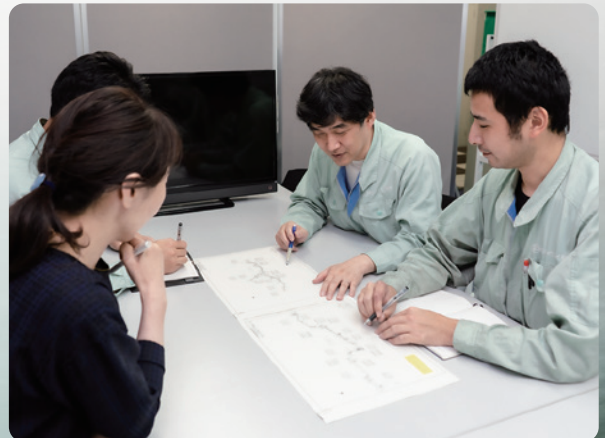
これら、設備の施工によって発生するリスクを最小限に抑え、迅速、かつ確実な施工を行うことは、利用するお客さまに質の高い道路サービスを提供することにつながる重要な取り組みのひとつです。

また、私たちの仕事場である高速道路は、開通前の新たな道路ばかりではなく、その多くの作業現場は車が行き交う供用中の路線です。そのため、施工に細心の注意を払い、高速道路を利用するお客さまと現場で働くエンジニア達の安全を共に確保することを最優先とし、安全かつ効率的で高度な施工管理を実現します。

労働者派遣

その他の事業

当社では、お客さまの様々なニーズに応じた人材をご紹介する労働者派遣事業を行っています。その他にも電気関係設備に係る業務について、経験・実績豊富な「電気通信のプロフェッショナル」がプロジェクトの成功をサポートいたします。



登録・認定 (ISO 取得など)

- 建設業認可 (電気工事業 / 電気通信工事業)
- 電気工事業届出 (みなし登録)
- 無線局登録点検事業者登録
- 労働者派遣事業届出
- ISO9001 (認証: ビューローベリタス)



株式会社 **ハイウェイ管制**
HIGHWAY KANSEI COMPANY LIMITED

<http://www.highway-kansei.co.jp/>

[本 社] 〒550-0005 大阪市西区西本町 1 丁目 3-10 信濃橋富士ビル 7F TEL. 06-6534-5505 (代表)



阪神高速グループ



この印刷物は環境に優しい
「植林木使用紙」「植物油インキ」
を使用しています。

202307-3rd-000A(j)